

のんきな姉さん (2002)

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマンズ
製作国 日本
色彩 Color
時間 82分
初公開日 2004/01/10
公開情報 スローラーナー
映倫 PG-12

【キャッチコピー】

でも、僕たちの愛情は、誰からも祝福されることはないのです。

【解説】

それぞれ、日本の古い民話“安寿と厨子王の物語”を基にした森鷗外の『山椒大夫』、唐十郎の『安寿子の靴』、漫画家・山本直樹のコミック『のんきな姉さん』の三作品から材を取った異色ドラマ。両親を亡くし、以来互いに深く結ばれた姉弟の不透明で危うい関係を幻想的に描く。監督は本作が劇場長編初メガホンとなる七里圭。同時上映は七里監督の短編「夢で逢えたら」。

クリスマスの夜、残業中の安寿子の携帯に電話が掛かってくる。電話の主は顔を見なくて久しい弟の寿司夫だった。彼は姉に送った自著『のんきな姉さん』が届いたことを確認すると、突然今夜自殺すると告げる。その小説は、幼い頃に両親を亡くした姉弟が、十数年2人だけの生活を送る中で互いに愛が芽生えていくものの、やがて妊娠した姉がお腹の父親が弟であることを否定して彼のもとを去る、という内容だった。そして安寿子の前には、小説を読んだという安寿子の課長や、彼女の婚約者、寿司夫の養父だと名乗る男が次々と現われる。

【クレジット】

監督	七里圭	
プロデューサー	磯見俊裕	
	石毛栄典	
	宇佐美廉	
原作	森鷗外	『山椒大夫』
	唐十郎	『安寿子の靴』
	山本直樹	『のんきな姉さん』
脚本	七里圭	
撮影	たむらまさき	
編集	宮島竜治	
音楽	侘美秀俊	
照明	佐藤譲	
録音	白取貢	
助監督	西川美和	
出演	梶原阿貴	藤田安寿子
	塩田貞治	藤田寿司夫
	大森南朋	一男
	梓	華子
	細田玲菜	少女

細田晃	男の子
佐藤允	慶藪小路
三浦友和	課長